

第1 平成18年度上半期の財政状況

補正予算のポイントは何か。 - 予算編成のポイント -

平成18年度当初予算は、原則として、政策性の強い事業や新規事業など一部の経費の計上を見送った、いわゆる「準通年型予算」として編成したことから、当初予算に本格的な肉付けを行った6月補正予算では、「選択と集中」を念頭に、「地域間競争を勝ち抜く元気な産業の創出」、「少子化対策最先進県を目指した取り組みの強化」、「いしかわの個性を活かした交流人口の拡大」など人口減少時代の新たな施策に取り組むほか、環境配慮型社会への移行や健康長寿社会の実現などを図ることとしました。

また、人口減少時代の到来や北陸新幹線の金沢開業などを見据え、中長期の視点に立った戦略的な取り組みのバックボーンとなる、長期構想の改定作業に取りかかることとしました。

9月補正予算では、梅雨災害の早期復旧対策などの緊急を要する対策をはじめ、6月補正予算編成以後の情勢の変化や事業の進捗等を踏まえ、新たな対応が必要となった施策に取り組むこととしました。

どのような事業が盛り込まれているのですか。 - 補正予算の重点施策 -

<6月補正予算>

1 地域間競争を勝ち抜く元気な産業の創出 - 産業革新戦略の展開 -

産業人材の育成・確保

- ・「産業人材プラン（仮称）」の策定
 - ・人材アドバイザーによる人材の確保・育成・定着に関する総合的なアドバイス
 - ・育児終了後の女性の再就職支援や若年人材の育成による産業人材の裾野の拡大
- ##### 産業競争力の強化
- ・企業の特許の活用や取得状況に関する診断、開放特許を活用した事業化可能性調査
 - ・県や民間企業による試験的使用と評価のフィードバックを行ういしかわ新商品トライアル発注制度の創設

2 少子化対策最先進県を目指した取り組みの強化

- 新しいしかわエンゼルプランの推進 -

子ども総合条例（仮称）の制定準備

子どもを産み育てたくなる環境づくり

- ・「県民育児の日」の制定・普及啓発やプレミアム・パスポート優良協賛企業の表彰
- ##### 子どもの誕生と心身の健やかな育ちの支援
- ・マイ保育園を活用した子育て支援拠点の機能強化（3歳未満の在宅保育児童に対する一時保育サービスや保育ママによる児童一時預かり等への支援）
 - ・不妊治療に対する初期段階からの一貫した支援制度の創設

3 いしかわの個性を活かした交流人口の拡大 - 新ほっと石川観光プランの推進 -

新たな観光戦略の展開

- ・観光スペシャルガイドの認定・活用による探求型観光の提案や産業観光の可能性調査の実施
- ・中国、韓国、台湾からの誘客促進

文化資産を活用した交流の促進

- ・金沢城公園の整備や兼六園周辺文化の森の魅力アップ
- ・県庁跡地等の活用基本構想の策定

交流基盤の整備

- ・金沢能登連絡道路直線化区間、金沢外環状道路海側幹線の延伸など道路の整備
- ・北陸自動車道白山IC（仮称）・小松空港IC（仮称）の設置検討

4 環境配慮型社会への移行 - 環境総合計画の推進 -

- ・産学民（NPO）官の連携による環境保全活動の推進
- ・県民、企業、団体による環境にやさしい活動「県民エコライフ大作戦」の推進

5 健康長寿社会いしかわの実現

- ・メタボリックシンドロームにターゲットを絞った保健指導のモデル実施
- ・小児科医、産科医を志す医学生を対象とした修学資金貸与制度の創設

6 豊かで活力ある地域づくりの推進

- ・奥能登地域の活性化に向けた研究会の設置
- ・大学サークル等の合宿誘致や学生の地域貢献活動への取り組みに対する支援

7 いしかわの未来を支えるひとづくり

- ・教員の授業力の向上（熟練した教員による若手教員への指導法の伝授など）
- ・不登校児童生徒のための適応指導教室「やすらぎ教室」の開設（能登町 県内全地区で設置完了）

8 魅力ある産業としての農林水産業の活性化

- ・担い手への農地集積の促進と経営力の向上（農地の出し手と受け手のマッチングなど）
- ・戦略作物を核とした産地づくりとブランド化の推進（生産拡大に対する支援、販路開拓など）

9 長期構想の改定

- ・社会、経済情勢の変化を見据えた県政の基本指針の策定

<9月補正予算>

1 災害の早期復旧と2次災害の防止対策

- ・梅雨災害等の早期復旧

2 韓国からの誘客促進

- ・旅行代理店へのトップセールスの実施
- ・誘客促進イベントの開催

3 食関連産業の海外展開への支援

- ・ニューヨーク食文化展への出展

4 金沢港物流機能の強化

- ・ガントリークレーンに軽量型スプレッド（特殊コンテナ専用の吊り金具）を整備